

第11回「耐震化架構体の実施例と耐震性能評価」 から伝統構法を考える

「夜見ると提灯のような日本の家。建具を取り払うと、柱と屋根だけが残る開放的な空間。この壁のない架構体は、設計の自由度を高めてくれるという点で極めて魅力的である。

この空間構成は日本人の自然観、建築観に基づいている。春夏秋冬と変化の多い日本の気候、それによって起こる四季の景色の移り変わりは、日本人の心を強く自然に引き付け、建築家の目的はいかに自然と調和する建築をつくるかにあった。(中略)

内外空間の一体性と連続性が重視された建物の一例として「竜吟庵方丈」がある。竜吟庵は京都五山の一つである東福寺の塔頭で、東福寺伽藍本坊の北裏に所在している。裏慶元年(1387)建立のこの建物は客殿形式方丈の現存最古の例であり、応仁の乱以前に遡る遺構として貴重である。(後略)

上記は、木内氏が限界耐力計算法を用いて「竜吟庵方丈」の性能を考察した報告の前文である。各部の構造要素実験も行い、先人の技術を現代の視点で評価しようというその真摯な取り組みを題材に、5月の勉強会に引き続き、奥深い伝統構法の可能性を探りたい。



【日 時】平成 22 年 10月2日(土) 13:30~16:30 (開場 13:00)

【会 場】東京芸術大学美術学部 中央棟 2 階第 3 講義室 (台東区上野公園 12-8)

【講 師】木 内 修 氏 木内修建築設計事務所代表

【定 員】100 名 (申込順、定員になり次第締切)

【参加費】2,000 円

【申込・問合せ】これ木連事務局

(NPO 日本民家再生協会内 担当: 金井)

TEL: 03-5216-3541 FAX: 03-5216-3542

Eメール: koremoku@e-mail.jp

【締 切】9 月 30 日 (木)

参加者 1 名ごとに、氏名、所属、電話、
ファクス、メールアドレスを明記のこと。

【主 催】これからの木造住宅を考える連絡会

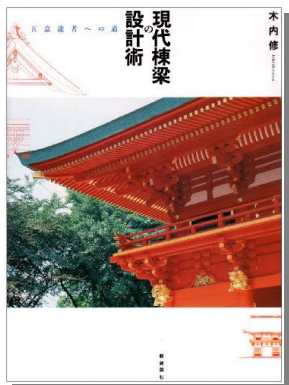
財団法人住宅産業研修財団 優良工務店の会
職人がつくる木の家ネット
NPO 伝統木構造の会
有限責任中間法人 日本曳家協会
NPO 日本民家再生協会
NPO 緑の列島ネットワーク



【交通】東京メトロ: 銀座線・日比谷線上野駅下車徒歩 15 分
千代田線根津駅下車 徒歩 10 分
京成電鉄: 京成上野駅下車 徒歩 15 分

■講師プロフィール

木内 修 氏



千葉県生まれ

東京理科大学理工学部建築学科卒業後、清水建設入社建築設計本部所属。1978～1980年の間、清水建設在籍のまま伊藤平左エ門氏の伊藤建築設計事務所にて伝統木造社寺建築設計技術を学ぶ。

大学卒業後一貫して民間の仕事の中に身を置き、独自に過去の木造建築の調査・研究より独自の仕口、継手を考案し、実験データを重ね、解析まで行う。

大石寺六壺など研究の結果をカタチにした作品も多数。著書に「現代棟梁の設計術―五意達者への道」(新建築社)がある。木内修建築設計事務所代表。

.....申し込み.....

(メール申し込みの場合は下記内容を koremoku@e-mail.jp まで)

◆連続講座「伝統構法を考える勉強会」

第11回 「耐震化架構体の実施例と耐震性能評価」から伝統構法を考えるに参加します。

①	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
②	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
③	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	

FAX 03-5216-3542